

2011年3月11日

大地震、それに伴う、津波、・・・「東日本大震災」

日本中が恐怖のどん底の渦に巻き込まれた。東京・・・震度 5弱

まさかの大きな揺れに職員、利用者、騒然となる。

その場で揺れが収まるのを待つ。後、安否確認、「全員、無事」

テレビで情報を得ると東日本が大変な事になっていることを知る。揺れが収まり異常がない事を確認して通常業務に入る。集まれる職員で緊急ミーティングを開き今後の対応策を所長を中心に検討、確認する。この時すでに携帯電話が不通となる。

通常的时间に送り業務に入るがエレベータが不通で特に高層マンションでは12階まで非常階段を使い家族が帰宅しているか職員が確認の為、往復する。不在の為、そのご利用者は緊急のショート利用となる。(白十字ホームで緊急対応)

交通機関が不通となり帰宅出来ないご家族のご利用者は苑に戻り、急遽、夕食提供、苑待機となる。各、方法にて帰宅となる。

あるご利用者の御主人は徒歩、5時間掛けて苑に到着、寄り添って帰宅された。

2名(上記の1名含む)のご利用者帰宅出来ず「緊急ショート」白十字ホームで緊急ショート対応となる。

震災の影響が様々出始めてきた。

ご利用者の利用の減少につなげない、孤立しない、家族の安心につなげる事で営業を続ける中で深刻なガソリン不足になってきた。利用していたスタンドは閉めてしまう。色々な情報を元に何とかその日暮らしのガソリンをまかなっていた。そんな厳しい状況を八国苑ブログにのせると、NHKの「Bizスポ」の社員の方の目に止り、早速、取材。

翌日3月22日23:00から放送、次の日の早朝、早速情報を知らせてくれる電話が鳴った。

ガソリン不足の為に休まざる得ない事業所が出る中、1日も休むことなく事業を続ける事ができた。